



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 美津濃株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8022 URL <http://corp.mizuno.com/jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福本 大介 (TEL) 06-6614-8465
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	93,143	△3.9	498	△65.1	△420	—	705	△51.5
28年3月期第2四半期	96,944	7.8	1,427	△46.6	1,813	△34.4	1,455	△16.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △4,161百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △261百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.59	—
28年3月期第2四半期	11.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	153,574	84,314	54.8
28年3月期	169,995	89,091	52.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 84,084百万円 28年3月期 88,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	△1.6	3,000	1.0	1,800	△35.2	2,200	5.5	17.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(平成28年11月11日)公表いたしました「平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	132,891,217株	28年3月期	132,891,217株
29年3月期2Q	6,529,564株	28年3月期	6,679,275株
29年3月期2Q	126,281,397株	28年3月期2Q	126,007,907株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、イギリスのEU離脱問題など先行きに不透明感がありながらも、中国では景気持ち直しの動きが見られるなど、全体としては穏やかに回復いたしました。

我が国経済は、企業収益の改善や設備投資に足踏みが見られ、個人消費にも伸び悩みが見られたものの、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、「米州ビジネスの収益回復」、「コスト低減への取り組み」及び「新規事業領域におけるビジネスモデルの構築」を最重要課題と位置づけ企業価値向上に取り組んでまいりました。

しかしながら、国内事業はおおむね堅調に推移したものの、北米ランニングシューズ市況が引き続き極めて厳しい状況であったことや、当社ブランドが高く評価されているブラジルの景気低迷、全世界的なゴルフ品市場の縮小、ポンド下落によるイギリス支店での為替差損の発生など、海外事業は非常に厳しい結果でした。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）における当社グループの経営成績は、売上高は38億円減収（前年同期比3.9%減）の931億4千3百万円となりました。営業利益は仕入コストにおいて全般的に為替変動の影響を大きく受け、売上総利益率が1.3ポイント低下したことなどにより、9億2千8百万円減益（同65.1%減）の4億9千8百万円となりました。経常損益は営業減益の影響及びポンド安によりイギリス支店で為替差損を計上した影響などで、22億3千4百万円減益の4億2千万円の経常損失になりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の退職給付信託設定益等の影響もあり7億4千9百万円減益（同51.5%減）の7億5百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本は、自治体の指定管理施設の運営や建設工事、体育器具を販売するスポーツ施設サービス事業が、バスケットゴールなどの体育施設向け用具、競技場改修工事などの完成工事案件が増加したことなどにより好調に推移いたしました。野球やサッカー、テニス、競泳などの競技スポーツ品販売事業、ランニングシューズや機能性ウェアなど、より生活に身近な製品を販売するライフスタイル品販売事業は、総じて堅調に推移いたしました。他方、全世界的に市場が縮小しているゴルフ品販売事業は苦戦いたしました。

この結果、売上高は11億6千1百万円増収（前年同期比1.9%増）の619億5千5百万円、営業利益は海外仕入品の為替変動の影響により粗利益率が0.8ポイント下落したことなどから、5億1千8百万円減益（同35.5%減）の9億4千3百万円となりました。

② 欧州

欧州は、主力のランニングシューズの販売が、競争激化により伸びが鈍化しつつあるものの、引き続き成長を維持しております。欧州で高い市場シェアを獲得しているハンドボールやバレーボールなどのインドアスポーツシューズも順調に販売を伸ばしており、また、新たに市場に投入したテニスシューズも契約選手の活躍もあり順調な滑り出しを見せております。全世界的に市況が冷え込んでいるゴルフ品においては、欧州ではカスタムクラブが好調で現地通貨ベースでは前年並みの売上を確保いたしました。

以上のように、欧州事業の売上は現地通貨ベースでは前年同期比増でしたが、英国ポンド、ユーロ等欧州通貨の大幅な下落により円貨換算では前年同期比減となりました。

この結果、売上高は4億9千7百万円減収（前年同期比5.8%減）の80億2千万円となりましたが、営業利益は4億8千6百万円増益の5千万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

英ポンド：146.47円（前年同期 186.58円）、ユーロ（欧州支店）：119.00円（前年同期 134.52円）、

ユーロ（子会社）：125.32円（前年同期 135.63円）、ノルウェー・クローネ：13.37円（前年同期 15.56円）

③ 米州

米州のスポーツ品市場は、大手小売チェーンの経営破綻など前期から厳しい市況が続いております。

ランニングシューズ市場では消費者の嗜好がシリアスランニングからカジュアルランニングに移行しつつあるなか、高機能ランニング品において流通市場で過剰在庫となり、店頭での値引き販売が常態化しております。当社グループにおいても価格競争に陥り、収益を圧迫いたしました。

ゴルフ品や野球品においても、市場に縮小の動きが見られる状況のなか、競合他社との厳しい競争状態となり、収益は前年を下回りました。また販売代理店からロイヤルティ収入を得ている南米ビジネスにおいても、ブラジルの景気低迷による売上減やレアル安による為替換算により収益は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は33億円減収（前年同期比20.3%減）の129億6千2百万円、営業損失は9億6千5百万円拡大し、10億3千3百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

米ドル：113.03円（前年同期 120.48円）、カナダドル：85.08円（前年同期 97.80円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアの業績は、ゴルフ品販売が苦戦したものの、ランニングシューズ、バレーボールなどのインドアシューズ、サッカーシューズなどが好調で、全般的に堅調に推移いたしました。ランニングシューズは、市場が成長しマラソン大会への参加者が増えている台湾や中国、タイにおいて大きく売上を伸ばしました。台湾では、高雄市に直営店を開店し、一層の成長を図っております。

以上のように、アジア・オセアニアの売上は現地通貨ベースでは前期比増でしたが、各国通貨に対する円高により、円貨換算では前期比減となりました。

この結果、売上高は11億6千4百万円減収（前年同期比10.2%減）の102億4百万円でしたが、営業利益は各国拠点での広告宣伝費等での経費削減効果があり9千1百万円増益（同18.1%増）の5億9千6百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

台湾ドル：3.45円（前年同期 3.88円）、香港ドル：14.56円（前年同期 15.55円）、

中国元：17.28円（前年同期 19.60円）、豪ドル：83.01円（前年同期 94.22円）、

韓国ウォン（100ウォンあたり）：9.58円（前年同期 10.95円）、

米ドル（シンガポール）：113.03円（前年同期 120.48円）

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ164億2千1百万円減少して1,535億7千4百万円となりました。現金及び預金が34億3千8百万円増加した一方で、商品及び製品が43億3千1百万円、受取手形及び売掛金が115億5千5百万円、投資有価証券が25億6千2百万円それぞれ減少いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ116億4千4百万円減少して692億5千9百万円となりました。支払手形及び買掛金が35億6千9百万円、未払金及び未払費用が18億7百万円、長短借入金が39億2千8百万円、退職給付に係る負債が31億2千6百万円それぞれ減少いたしました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ47億7千6百万円減少して843億1千4百万円となりました。その他有価証券評価差額金が15億円、為替換算調整勘定が32億4千6百万円それぞれ減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.2%から54.8%へと2.6ポイント増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月10日公表の連結業績予想数値を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成28年11月11日）公表の「平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,176	17,614
受取手形及び売掛金	46,637	35,082
有価証券	132	—
商品及び製品	35,425	31,093
仕掛品	896	1,154
原材料及び貯蔵品	3,579	3,342
繰延税金資産	2,882	3,181
その他	5,269	4,498
貸倒引当金	△1,252	△870
流動資産合計	107,747	95,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,442	17,663
土地	16,879	16,861
その他(純額)	2,650	2,441
有形固定資産合計	37,971	36,967
無形固定資産		
のれん	3,697	3,255
その他	7,026	6,882
無形固定資産合計	10,724	10,138
投資その他の資産		
投資有価証券	8,824	6,262
繰延税金資産	2,555	3,135
その他	2,564	2,364
貸倒引当金	△392	△392
投資その他の資産合計	13,551	11,370
固定資産合計	62,247	58,475
資産合計	169,995	153,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,498	14,928
短期借入金	12,596	8,907
1年内返済予定の長期借入金	6,680	7,500
未払金及び未払費用	11,622	9,814
未払法人税等	998	920
返品調整引当金	367	344
その他	2,640	3,494
流動負債合計	53,404	45,909
固定負債		
長期借入金	13,861	12,802
繰延税金負債	2,083	2,041
再評価に係る繰延税金負債	2,440	2,440
退職給付に係る負債	5,562	2,435
資産除去債務	218	218
その他	3,332	3,410
固定負債合計	27,499	23,349
負債合計	80,903	69,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,520	31,542
利益剰余金	30,313	30,388
自己株式	△2,444	△2,391
株主資本合計	85,526	85,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,908	1,408
繰延ヘッジ損益	△780	△1,081
土地再評価差額金	△104	△104
為替換算調整勘定	2,848	△398
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△1,417
その他の包括利益累計額合計	3,271	△1,592
非支配株主持分	293	230
純資産合計	89,091	84,314
負債純資産合計	169,995	153,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	96,944	93,143
売上原価	58,801	57,723
売上総利益	38,142	35,420
販売費及び一般管理費	36,715	34,921
営業利益	1,427	498
営業外収益		
受取利息	149	77
受取配当金	118	109
為替差益	378	—
その他	303	146
営業外収益合計	950	334
営業外費用		
支払利息	195	174
売上割引	266	162
為替差損	—	837
その他	101	80
営業外費用合計	563	1,254
経常利益	1,813	△420
特別利益		
固定資産売却益	10	7
投資有価証券売却益	512	—
退職給付信託設定益	—	2,162
特別利益合計	523	2,169
特別損失		
固定資産売却損	6	0
固定資産除却損	8	29
投資有価証券評価損	—	0
事業構造改善費用	—	230
特別損失合計	14	259
税金等調整前四半期純利益	2,322	1,489
法人税等	810	745
四半期純利益	1,512	743
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,455	705

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,512	743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△677	△1,500
繰延ヘッジ損益	△1,258	△301
為替換算調整勘定	107	△3,287
退職給付に係る調整額	53	183
その他の包括利益合計	△1,774	△4,904
四半期包括利益	△261	△4,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△327	△4,159
非支配株主に係る四半期包括利益	65	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	60,793	8,518	16,263	11,368	96,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,042	7	27	2,747	4,825
計	62,836	8,525	16,291	14,116	101,769
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,462	△435	△68	505	1,463

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,463
セグメント間取引消去及びその他の調整額	△36
四半期連結損益計算書の営業利益	1,427

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	61,955	8,020	12,962	10,204	93,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,714	—	17	2,578	4,310
計	63,670	8,020	12,980	12,782	97,454
セグメント利益又は セグメント損失(△)	943	50	△1,033	596	557

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	557
セグメント間取引消去及びその他の調整額	△58
四半期連結損益計算書の営業利益	498